



奈良県感染症情報

令和 5 年 第 19 週 (5 月 8 日 ~ 5 月 14 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 蚊が媒介する感染症について

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	7.06	(3.53)	↗	↑	↗	↘
2	RS ウイルス感染症	2.65	(2.03)	↗	↗	↗	↑↑
3	新型コロナウイルス感染症	2.55	—	※	※	※	※
4	A群溶連菌咽頭炎	0.97	(0.12)	↑	↑	↑↑	↗
5	インフルエンザ	0.64	(0.58)	↘	↓	↑	↗

発生状況： **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減：過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**
 ※新型コロナウイルス感染症の増減は、第 24 週から表示できます

◆ 県内概況 ◆

第 19 週の新型コロナウイルス感染症の定点あたり報告数は、2.55 でした。5 月 8 日から感染症法上の五類感染症(定点把握対象)となり、患者の全数報告から定点あたり報告数へと調査方法が変更されました。今後とも引き続き、発生動向の把握を行っていきます。

感染性胃腸炎の報告数が増加しています。感染性胃腸炎は、多くがノロウイルスやロタウイルスなどウイルス感染が原因ですが、気温が上昇する時期には細菌感染によるものにも注意が必要です。しっかりと手洗いすることや衛生的な食品の取り扱いを心がけましょう。

RS ウイルス感染症の報告がやや増加傾向です。これから流行が拡大する可能性がありますので、特に乳幼児がいる家庭や施設では感染予防に注意が必要です。

◆ 蚊が媒介する感染症について ◆

これから夏に向かう時期となり、人間だけでなく動物や昆虫などの活動も活発化しています。すでに蚊に刺された方もおられるのではないのでしょうか。

蚊は身近な昆虫ですが、病原体を保有する蚊に刺されることによって起こる感染症があります。主な疾患は、デング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症、日本脳炎、ウエストナイル熱、黄熱、原虫疾患であるマラリアなどです。日本脳炎以外は海外からの輸入感染症としてみられますが、デング熱に関しては 2014 年に国内感染例がありました。海外との交流が活発化すると、輸入感染症も増加するおそれがあります。

発症してからの治療は対症療法が中心となるため、まず蚊に刺されないための対策が重要です。屋外の蚊が多い場所で活動する場合は、できるだけ肌を露出せず、虫よけ剤を使用するなど、蚊に刺されないよう注意してください。また、身の回りで蚊の発生源となる放置された水たまりなどをなくすることも大切です。

日本脳炎は不活化ワクチンによる予防接種、マラリアは医師の処方による予防内服が有効です。

厚生労働省 **ジカ熱・デング熱対策**

ヒトスジシマカの発生源を叩け!

- 蚊の発生を減らすために、定期的に幼虫が発生しそうな周辺の水たまりの除去・清掃をしましょう!
- 下草を刈るなど、成虫が潜む場所をなくしましょう!

水たまり除去・清掃

- 植木鉢の水
- 雨除けのブルーシートや古タイヤに溜まった水たまり
- 雨ざらしの用具
- 屋外に放置された空きビン・缶・ペットボトル

下草刈り

- 公園、学校、寺社、空港、駅などの施設を管理されている方もご協力をお願いします!

蚊に刺されたら?

ジカ熱やデング熱は蚊を介して感染します。原因となるウイルスは、感染した人の血を吸った蚊(日本ではヒトスジシマカ)の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うときにウイルスを移し、感染を広げます。

ジカ熱やデング熱に感染するとどうなる?

感染しても多くは発症しませんが、発熱や関節痛、発疹が現れることがあります。また、ジカ熱は妊婦が感染すると小児麻痺などの先天性障害をもった子どもが生まれるため、デング熱では出血や脳炎と重篤化することがあります。

【ヒトスジシマカ】
 体長: 約 5mm
 羽の長さ: 約 10mm
 寿命: 約 2週間

ジカ熱・デング熱に関する詳しい情報は厚生労働省のHPをご覧ください。

ジカ熱 予防策 詳細 | デング熱 予防策 詳細

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 5 年 第 19 週 5 月 8 日 ~ 5 月 14 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野		
インフルエンザ/COVID-19定点数	55	14	14	11	10	6	
インフルエンザ	35 (0.64)	4 (0.29)	1 (0.07)	10 (0.91)	15 (1.50)	5 (0.83)	
新型コロナウイルス感染症	140 (2.55)	27 (1.93)	36 (2.57)	27 (2.45)	33 (3.30)	17 (2.83)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	3	
RSウイルス感染症	90 (2.65)	19 (2.11)	16 (1.78)	24 (3.43)	28 (4.67)	3 (1.00)	
咽頭結膜熱	9 (0.26)	1 (0.11)	1 (0.11)	5 (0.71)	2 (0.33)		
A群溶連菌咽頭炎	33 (0.97)	8 (0.89)	7 (0.78)	6 (0.86)	9 (1.50)	3 (1.00)	
感染性胃腸炎	240 (7.06)	34 (3.78)	77 (8.56)	40 (5.71)	82 (13.67)	7 (2.33)	
水痘							
手足口病	7 (0.21)	2 (0.22)	3 (0.33)	2 (0.29)			
伝染性紅斑	2 (0.06)	1 (0.11)		1 (0.14)			
突発性発しん	10 (0.29)	1 (0.11)	2 (0.22)		6 (1.00)	1 (0.33)	
ヘルパンギーナ	10 (0.29)	1 (0.11)	2 (0.22)	3 (0.43)	4 (0.67)		
流行性耳下腺炎							
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	
急性出血性結膜炎							
流行性角結膜炎	6 (0.60)			6 (3.00)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	
細菌性髄膜炎							
無菌性髄膜炎							
マイコプラズマ肺炎							
クラミジア肺炎							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)							

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核6件(奈良市3、中和3)
3類感染症	
4類感染症	サル痘1件(奈良市1)、レジオネラ症1件(郡山1)
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(郡山1)、 侵襲性インフルエンザ菌感染症2件(郡山2) 侵襲性肺炎球菌感染症3件(奈良市1、郡山1、中和1)、 水痘(入院例)1件(中和1)、 梅毒3例(奈良市2、郡山1)

❖ 第19週のトピックス ❖

麻疹の国内伝播事例の増加に伴う注意喚起について(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/content/001097724.pdf>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計		
インフルエンザ	男			1					3	2	1	1	2		1	5			3	1		20	4362		
	女			1												1						15	3766		
新型コロナウイルス感染症	男	2	2	3			1	1					5	6	11	5	10	3	2	5	2	58	58		
	女	1	1		1			1				3	4	10	7	4	16	10	13	7	2	82	82		
RSウイルス感染症	男	1	9	18	9	10	2															49	310		
	女	5	10	11	3	5	3	2	2													41	238		
咽頭結膜熱	男			5	2																	7	63		
	女			2																		2	43		
A群溶連菌咽頭炎	男		1	1	1	2	1	2	4				3		2							17	135		
	女				1	2	3			2	1	2	3		2							16	81		
感染性胃腸炎	男	1	9	19	18	12	14	18	9	9	5	5	10	1	7							137	2001		
	女	2	8	16	13	14	7	10	5	7	4	4	5	1	7							103	1628		
水痘	男																						17		
	女																						12		
手足口病	男			2		1																3	63		
	女		1	3																		4	51		
伝染性紅斑	男				1	1																2	3		
	女																						3		
突発性発しん	男		2	3					1													5	87		
	女		2	2																		5	65		
ヘルパンギーナ	男			2	1	1	1															5	23		
	女			3	1				1													5	16		
流行性耳下腺炎	男																						4		
	女																						5		
急性出血性結膜炎	男																						2	2	
	女																						4	26	
流行性角結膜炎	男							1	1													2	35		
	女							1						1			1				1	4			
細菌性髄膜炎	男																						3		
	女																						3		
無菌性髄膜炎	男																						1		
	女																						2		
マイコプラズマ肺炎	男																						1		
	女																								
クラミジア肺炎	男																							1	
	女																							1	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																							1	
	女																							1	

注目疾患の動向 全て定点当たり報告数

R5
 R4
 R3
 過去10年平均

